

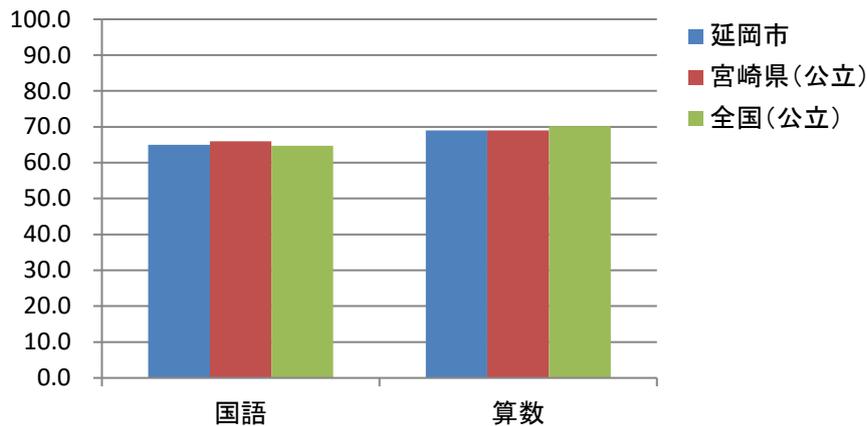
# 令和3年度「全国学力・学習状況調査」 延岡市の調査結果について（小学校）

延岡市教育委員会

※ 調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であります。  
「令和3年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要項」（文部科学省）より

## 1 平均正答率の状況

※平均正答率 … 個人の正答率（全設問における正答数の割合）を足し合わせ、児童の人数で割った値



### 【全体の傾向】

延岡市の児童の平均正答率と全国の平均正答率を比べると、国語において全国をやや上回っており、望ましい傾向にあります。算数では、全国をやや下回っており、課題が見られます。

領域で比べると、国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「書くこと」において、全国平均を上回っています。算数では、「図形」と「測定」において全国平均を上回っています。

無解答率は、国語では、すべての問題において、全国平均以下になっており、望ましい傾向にあります。

調査問題の解答時間について、国語、算数ともに、7割以上の児童が、「時間が余った」「ちょうどよかった」と答えています。

## 2 各教科の状況

### 【国語】

- 「目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考え方が伝わるように書き表し方を工夫する」、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」、「文の中における主語と述語との関係を捉える」に関する問題で、正答率が高く、全国の平均正答率を上回っています。
- 「目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える」、「資料を用いた目的を理解する」、「文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する」に関する問題で、課題が見られます。

### 【算数】

- 「二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる」、「速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる」、「三角形の面積の求め方について理解している」に関する問題で、正答率が高く、全国の平均正答率を上回っています。
- 「速さを求める除法の式と商の意味を理解している」、「データを二次元の表に分類整理することができる」、「集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる」に関する問題で、課題が見られます。

### 3 児童質問紙調査の状況

#### 【夢・目標について】

「将来の夢や目標を持っている」、「自分でやると決めたことは、やり遂げる」について、肯定的な回答をした児童の割合が全国平均より高いことがわかりました。

#### 【生活習慣について】

「毎日、同じくらいの時刻に起きている」について、肯定的な回答をした児童の割合が全国平均より高いことがわかりました。

#### 【学校生活について】

「人が困っているときは、進んで助けている」、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」、「友達と協力するのは楽しい」について、肯定的な回答をした児童の割合が全国平均より高いことがわかりました。

#### 【学習について】

「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」、「学校の授業時間以外に普段、1日当たり1時間以上勉強をする」、「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする」、「学校の授業時間以外に普段、1日当たり1時間以上読書をする」、について、肯定的な回答をした児童の割合が全国平均より高いことがわかりました。

### 4 学校質問紙調査の状況

#### 【小中連携について】

「前年度までに近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行っている」、「前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った」について、肯定的な回答をした学校の割合が全国平均より高いことがわかりました。

#### 【研修について】

「学習指導要領の理解を深めるため、校内研修等で、全国学力・学習状況調査の問題を題材として取り上げている」について、肯定的な回答をした学校の割合が全国平均より高いことがわかりました。

#### 【指導について】

「全国学力・学習状況調査の問題を、学力・学習状況の把握のため、児童への家庭学習等の課題の参考としている」、「全国学力・学習状況調査の結果を、児童の傾向や課題を把握するために活用したり、学校が実施する他の調査結果と組み合わせた分析を行っている」、「全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている」について、肯定的な回答をした学校の割合が全国平均より高いことがわかりました。

#### 【授業について】

「前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」、「前年度までに、各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを1,200字程度で児童にまとめさせた」について、肯定的な回答をした学校の割合が全国平均より高いことがわかりました。